



# 台湾新北市石門区 ホームステイ

1月29日から2月4日までの7日間、昭和63年から姉妹都市提携を続けている台湾新北市石門区から、石門國民中学の一行が美浜町を訪れました。

今回訪れた一行は、昨年7月から8月に美浜中学校の生徒が石門区を訪問した際、現地で一緒に過ごした生徒16人と、学校・行政関係者の計21人です。

約半年ぶりの再会を果たした生徒たちは、ホームステイや美浜中学校での交流授業等を通して、友好を深めました。

今月号では、両中学校の生徒たちが過ごした7日間の様子を紹介します。

※「」は美浜中学校生徒の感想です。



↑ 着物を着て京都を散策 (清水寺)

「家で、手巻き寿司と豆まきをして、すごく楽しそうでした。手巻き寿司は、おいしいと言ってくれました。豆まきでは、鬼は外、福は内が言えるようになってくれました。」  
「家でパートナーの緊張が一気に解け、2人の距離がものすごく縮まりました。2人の大きな笑い声をお母さんが聞き、本当に楽しそうでした。良かったと言っていました。何だか嬉しい気持ちに包まれました。」

「京都へ移動し、着物に着替えて清水寺や金閣寺等を見学しました。夜は昨日に引き続き、ホームステイ先に宿泊しました。この夜は生徒たちの様子を確認するため、両中学校の教師等が各家庭を訪問しました。」

「京都を日本を代表するところで、日本の文化を知ってもらうには絶好の場所でした。みんな着物を初めて着て、とてもはしゃいでいました。私はその姿を見て、日本の文化を体感してもらい、おもてなしができていると感じました。」

「家で、チョコレートで描いた2人の似顔絵をプレゼントすると、パートナーは泣いて喜んでくれました。とても嬉しかったです。頑張った作って良かったです。」

## 2月3日(火)

「明日からいよいよ私の家へホームステイに来ます。とても緊張しますが、気軽に楽しんでほしいです。そして、私が台湾へ行った時にしてくれたことを返してあげたいです。一生忘れられないような思い出を作りたいです。」



↑ 中部国際空港でパートナーを出迎える美浜中学生

## 2月1日(日)

石門國民中学の一行が中部国際空港に到着し、昨年夏に石門区を訪問した美浜中学生らが出迎えました。その後、石門國民中学一行は美浜町入りし、町内の旅館に宿泊しました。  
「台湾のみんなの顔を見たら、ワクワクした気持ちが溢れてきて、思わず抱き合いました。以前と変わっていない人もいれば、更に大人になっている人もいました。しかし、心の中は誰一人変わっていませんでした。」  
「明日からいよいよ私の家へホームステイに来ます。とても緊張しますが、気軽に楽しんでほしいです。そして、私が台湾へ行った時にしてくれたことを返してあげたいです。一生忘れられないような思い出を作りたいです。」

## 2月2日(月)

町役場及びびなびあすで歓迎会が行われた後、若狭国吉城歴史資料館を見学しました。  
午後からは、レインボーライン山頂公園から美浜町の景色を満喫した後、レークセンターでストラップを作りました。  
夜には歓迎晩餐会が開かれ、その後、それぞれの生徒(パートナー)の家に分かれ、3日間のホームステイが始まりました。  
「美浜町の自然や歴史、文化を学んでもらえる場所にたくさん行きました。今日はホームステイ1日目。パートナーの緊張が早く解け、リラックスして楽しんでほしいです。」



↑ 歓迎晩餐会で盛り上がる生徒たち



↑ ホームステイ先の家族と記念撮影



↑ セルカ棒を使いハイ！チーズ (金閣寺)

2月4日(水)

ホームステイ先から美浜中学校へ登校しました。

中学校では、生徒会主催の歓迎式が開かれ、吹奏楽部の演奏やゲーム等で石門国民中学一行を歓迎しました。また、交流授業として剣道や茶道、エルゴの体験をパートナーとともに楽しみました。

3日間のホームステイも、この日が最後になりました。



↑パートナーからお面を付けてもらい剣道に初挑戦

「パートナーと一緒に歩いて登校しました。途中すれ違う人に挨拶をする、パートナーもおはようございませと挨拶しており、とても微笑ましかったです。」

「交流会では、ドッチビル(ドッチボールとドッチビーを合わせたゲーム)をしてパートナーと仲を深めることができました。美浜中学校の生徒も、温かく迎えてくれ、石門国民中学の皆さんも安心して遊んだり、式典に臨むことができたと思います。」

「茶道や剣道等、日本らしさを体験してもらいました。日本の文化に、石門国民中学の生徒たちはワクワクした様子でした。」

「パートナーは、迫力ある剣道を初めて見て驚いていました。」

「剣道でお面を付けてあげました。楽しかったといっていたので良かったです。夜は、みんなでパーティーをして盛り上がり、すごく仲良くなれた気がします。」



↑初めてのエルゴ体験で笑顔が溢れる

「エルゴのレースでは、チームのみんなを一つにすることができて良かったです。」

「夜は、2年生で集まって鍋パーティーをしました。くす玉を割ったり、クラッカーを鳴らしたりして盛り上がりました。台湾にホームステイした時のような、温かい心をあげられたでしょうか。」

「最後のホームステイは、1年生のみんなでお好み焼きを食べに行きました。パートナーも台湾の子と会えて嬉しそうでした。その後、プリクラを撮りました。ホームステイ最後の夜を楽しみたいです。」



↑慣れない正座で茶道を体験

2月5日(木)

今庄365スキー場で、スキー体験をしました。石門国民中学の生徒たちは、台湾では見ることのできない真っ白な雪の中で、初めてのスキーを満喫しました。

石門国民中学一行は、翌日美浜町を発つため、夜の送別会には、ホームステイ先の家族も出席しました。

「台湾の子たちは、雪を見た瞬間、目がとてもキラキラしていました。それから雪合戦も大変楽しそうでした。送別会では、あと少しでみんなとお別れなんだと思い、とても悲しい気持ちになりました。」



↑初めてのスキー体験



↑送別会でホームステイ先の家族へ感謝の手紙を読む石門国民中学生

2月6日(金)

ホームステイ先の家族に見送られ大阪へ移動し、ユニバーサルスタジオ・ジャパンで二日を過ごしました。夜は大阪市内に宿泊しました。

「明日はついに一週間も終わりを迎える、石門国民中学のみんなとお別れです。できれば、このまま時が止められたらと思います。」

「ホテルでは、就寝時間になるまでみんなとたくさん喋ったり遊んだりして本当に最高でした。」

2月7日(土)

名古屋へ移動し、名古屋城を見学しました。

その後、中部国際空港へ行き、台湾へ発つそれぞれのパートナーを見送りました。

空港では、7日間の思い出がよみがえり、涙の別れとなりました。

「台湾で受けたようなおもてなしができたでしょうか。楽しませてあげていました。でも、また会う約束をしました。だから僕は、笑顔で見送りました。」

「パートナーから手紙をもらって泣いてしまいました。また、みんなで写真撮ったら、お別れなんだという感情が強くなり、すごく悲しくなりました。そして、絶対会いに行こうと思いました。」

「みんなとたくさんさんの幸せな思い出を作ることができました。この事業に参加して良かったです。これからも手紙やメールで連絡して将来また会いたいです。」

「もつと一緒にいたかったです。最後見えなくなるまで手を振りました。いつかまた会いたいです。」



↑楽しみにしていたユニバーサルスタジオ・ジャパン



←別れを惜しみ抱き合う  
両中学校の生徒たち





今回のホームステイを通して、生徒たちは何を感じたのでしょうか。

美浜町の  
皆さんに感謝



石門国民中学校 3年  
魏孟師 さん

この一週間は、とても充実したもので、まさに別世界に来たようでした。異なった風景や異なった言語すべてが目新しく、心が躍りました。日本人は、皆さんとても親切で、美浜中学校や保護者の方々には大変お世話になりました。私は、日本はとても親切な国だと思いました。

今回の交流活動で、日本の食べ物や文化、寒い天気等、台湾ではできないさまざまな体験をさせていただきました。京都で着物を着て、美浜中学校で剣道と茶道を体験し、スキー場で雪だるまを作り、ユニバーサルスタジオ・ジャパンに行きました。美浜町の皆さんには感謝しています。本当にありがとうございました。

いつか必ず  
会いましょう



石門国民中学校 3年  
許子軒 さん

日本にいる時は、時間が経つのが早く感じました。この一週間はとても楽しかったです。特にスキーが面白かったです。

日本では、美浜中学校の生徒たちとも友達になりました。どう表現したらよいか分かりませんが、とにかく日本の文化が大好きです。

ユニバーサルスタジオ・ジャパンのアトラクションは、台湾より面白く、すごく楽しかったです。将来もう一度日本に行きたいです。みんなと約束したからね。また会いましょう。

この思い出は  
一生の宝物



美浜中学校 2年  
川端樹 さん

この一週間は、さまざまな感情が詰まった濃い7日間で、とても価値あるものでした。このような素晴らしい思い出や素晴らしい出会いを提供してくれた人たちに感謝します。

国際的な交流を通して、私はもっと留学や受入れをしたいと思うようになりました。台湾の人たちが日本語に興味を持つように、私たちが中国語に興味を持ちました。これを機会に、お互いの国へ成長した姿でまた会いに行きたいと思っています。

台湾でのホームステイを含む二週間は、長い人生の中でほんのわずかな瞬間の時間です。しかし、その瞬間の間の中で私たちは巡り合い、さまざまな思い出を作ることができました。この思い出、また出会いというのは私たちの宝物です。本当にこの一週間は最高でした。一生忘れません。

みんなに出会えて  
本当に幸せ



美浜中学校 2年  
福田天音さん

私は、この一週間で台湾の人の温かさを改めて感じました。一番心に残っている出来事は、パートナーが私の手が冷たいことに気づき、温めてくれたことです。私はその時、すごく感動して涙が出そうになりました。

この一週間、言葉が通じなくて大変だと思いましたが、ジェスチャーや通訳さんを通して、さまざまな話をする事ができ、本当に楽しかったです。最高の思い出を作ることができました。役場の方や家族に感謝しています。

パートナーを含め、この事業に参加した石門国民中学校の16人の皆さん、通訳さんに出会うことができました。本当に幸せです。一生忘れません。そして数年後に必ず会いましょう。「台湾の大家非常喜欢（台湾の皆さんが大好きです）」



お問い合わせ先  
町住民環境課(担当:上野)  
☎32-6703

利用者の利便性向上へ  
4月1日からコミュニティバスの運行体系が変わります



美浜町新コミュニティバスご利用案内
新しくなったポイント
利用のながれ
利用前準備の方法
予約便の予約方法

町では、4月1日から、町コミュニティバスの運行体系を変更します。今回の変更は、現行バスの問題点を改善するとともに、利用者の更なる利便性向上を目的に運行体系を見直すものです。(広報みはま2月号6頁7頁参照)

線で34便に増便します。予約便の予約方法や予約専用電話番号、新たな時刻表、運行経路等については、全戸配布しました「美浜町新コミュニティバスご利用案内」をご覧ください。

↑新コミュニティバスの予約方法、時刻表、路線図等を掲載した「美浜町新コミュニティバスご利用案内」(全戸配布) ※A2判4つ折り

美浜発電所の状況



今回の報告では、1月20日から2月17日までの美浜発電所の状況等についてお知らせします。

関西電力(株)が美浜発電所の運転方針を表明

2月2日に、関西電力(株)美浜発電所の藤原健二所長が町役場を訪れ、山口町長に美浜発電所の今後の運転方針を報告しました。

美浜発電所の運転方針の報告内容(要旨)

美浜1、2号機については、新規制基準への適合に必要な対策を継続して検討しており、今後、この検討結果を踏まえ経済的な評価等を行うこととしている。1、2号機は、他プラントと比較して、工事等の場所が狭隘であることから、新規制基準への適合に必要な対策の検討にはまだ一定の時間を要する見込みである。特別点検(※1)の実施期間も考慮すると、今年度末頃には、運転延長するか否かの方向性を出したい。

美浜3号機については、新規制基準への適合に必要な対策に目処がついたため、今年度内に原子炉設置変更許可申請(※2)を国へ提出したいと考えている。また、特別点検の実施についても検討を進

お問い合わせ先  
町農林水産課(担当:上光)  
☎32-6706

町の農業の方向性を定める  
美浜町農業基本計画案が答申されました



↑山口町長に美浜町農業基本計画案を答申する北川太一委員長(右)

2月4日に、美浜町農業基本計画策定委員会の北川太一委員長(福井県立大学教授)から山口町長に農業基本計画案の答申が行われました。同計画は、国や県の農業施策を踏まえ、町の農業が抱えている課題や地域の特性を考慮して、町独自の農業施策を定めるものです。計画の検討においては、昨年6月から町の農業関係や消

費者団体、有識者等により、町の現状や課題について協議された後、山口町長から諮問を受けた同策定委員会が、審議を重ね、意見を取りまとめました。答申された計画案では、農業の多面的な役割や農村振興を重視した「生きがいづくり・むらづくり農業」の実現と、国や県の施策に沿った「強い農業・もうける農業」の育成・発展の2つの理念による農業戦略が挙げられました。

また、農業関係機関の連携や窓口の一本化を図るとともに、計画に掲げる農業施策を進めるうえで中心となる「農業サポートセンター(仮称)」の創設等が掲げられています。今後、町では今回答申された内容をもとに、平成26年度内の計画策定を予定しています。

め、特別点検を実施する場合には、その結果を踏まえ運転期間延長認可申請(※3)について判断していきたい。

美浜発電所は、これまで地域の地場産業の一つとして地元経済や雇用等に一定の役割を果たしてきたと認識している。今後もこの役割を堅持し、地元の皆様との共存共栄を図っていくことが、当社の事業運営にも不可欠なものと考えている。今後も原子力発電所の安全性を自主的、継続的に向上させていくとともに、立地地域の皆様方のご理解を賜りながら、全力で取り組んでいく。

(山口町長)

美浜1、2号機の方針に関して、地域共生を含め、具体的な対応をしっかりと検討してほしい。

美浜3号機について、今年度内に、原子炉設置変更許可申請を行うということは、一つの目途がついたものと受け止めている。

関西電力(株)として方針を示し、地元の理解活動について、しっかりと対応いただきたい。

町としても、町議会とともに国・県に対して地域振興を要望していく。



↑藤原美浜発電所長(写真左)から美浜発電所の運転方針の報告を受ける山口町長

(※1)特別点検  
発電用原子炉が運転開始から40年を超えて運転する場合に、そのプラントの劣化状況を確認する点検。点検では、原子炉容器の母材・溶接部の欠陥の有無の確認や原子炉格納容器の目視試験による塗膜状態の確認、コンクリート構造物の強度等の確認が行われる。

(※2)原子炉設置変更許可申請  
原子力事業者が、原子力施設の安全性確保のために施設の設置及び変更を国へ提出する申請。

(※3)運転期間延長認可申請  
運転開始から40年とされている発電用原子炉の運転期間を延長するために国へ提出する申請。延長期間の上限は20年とされており、具体的な延長期間は審査で個別に判断される。